

## 3号機原子炉建屋内の外観点検に向けた調査について

- 1～3号機原子炉建屋については、これまでに実施した耐震安全性評価により十分な耐震安全性を有していることを確認しております。
- 一方でデブリ取り出し完了までの長期にわたって建屋健全性を確認していく必要があるため、耐震安全性評価で考慮している耐震壁等の耐震部材について経年劣化や地震時の追加損傷等の有無を確認し、必要に応じて耐震安全性評価モデルに反映していくことを計画しています。<2021年3月22日お知らせ済み>
- 今回、3号機原子炉建屋において、今後の建屋内外観点検計画の立案のため、下記の調査を行います。（実施予定日：2021年5月25日）  
【調査内容】
  - ・耐震部材周辺の状況調査（現状確認と、継続的に外観点検が可能な箇所選定を目的としたもの）
  - ・アクセスルートの状況調査（高線量下であることからロボット・ドローンにより調査する方法を検討するため）【調査対象の耐震部材】
  - ・2階：耐震壁(プール下部の東面)周辺、  
          シェル壁（原子炉格納容器外側の鉄筋コンクリート壁）周辺
  - ・3階：プール壁(西面)周辺、南東階段周辺(ドローン等のアクセスルート)
- 1, 2号機原子炉建屋内における調査についても、今秋実施を目途に計画中です。

## 3号機原子炉建屋内調査の概要

---

### ■ 調査概要

#### 【2階調査】

調査経路：2階南東階段～東側通路～北側シエル壁

調査方法：ウェアラブル型3Dスキャン装置（360°写真，点群データ取得）  
360度カメラ（360°動画）

調査時間：9分程度（行き2分，調査5分，帰り2分）

調査体制：3名（撮影，照明，線量測定）

計画線量：5.0mSv（APD設定値：4.0mSv）

#### 【3階調査】

調査経路：3階南東階段周辺～西側プール壁周辺

調査方法：360度カメラ（360°動画）

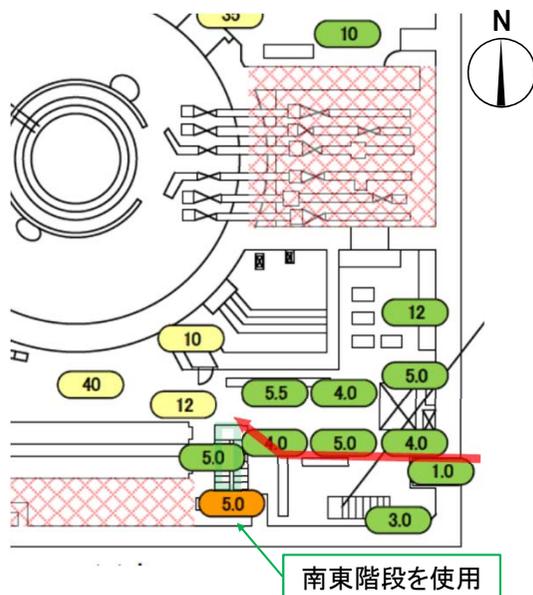
調査時間：10分程度（行き4分，調査3分，帰り3分）

調査体制：2名（撮影兼照明，線量測定）

計画線量：2.5mSv（APD設定値：2.0mSv）

# 3号機原子炉建屋内調査 2階調査ルート

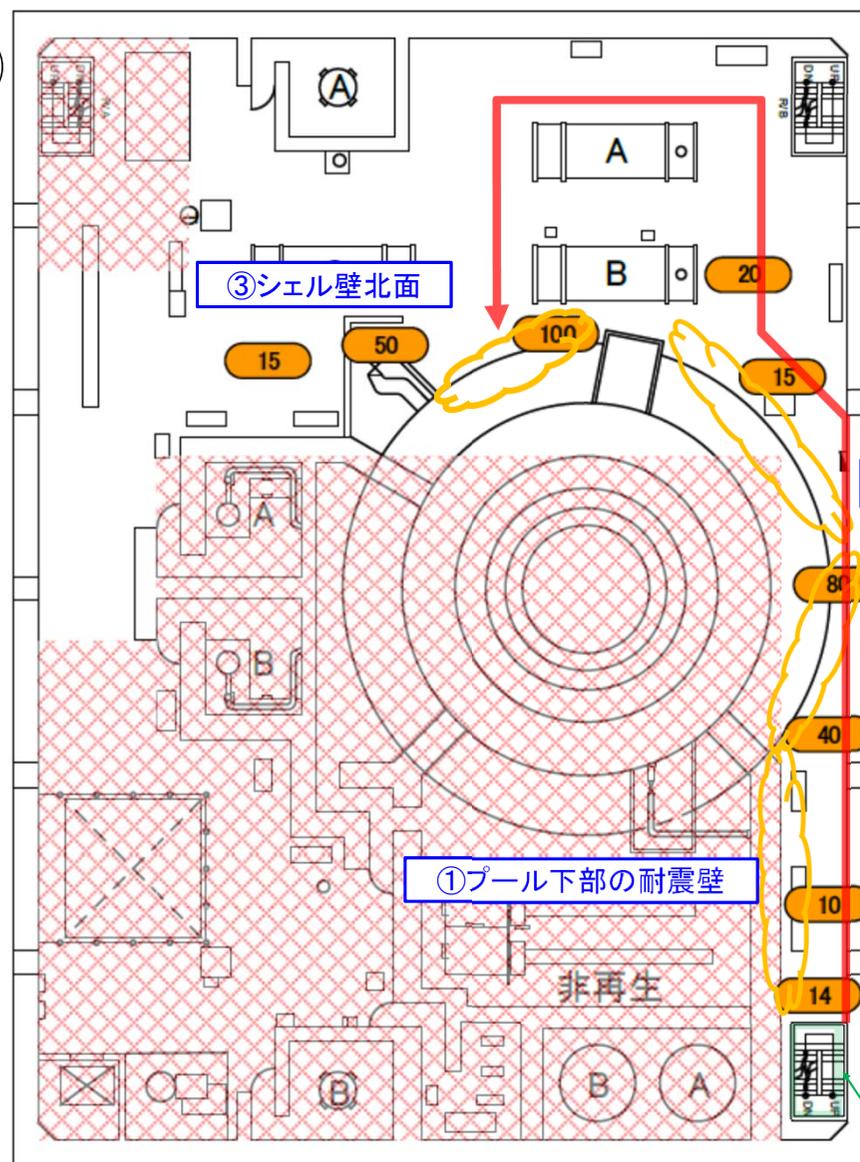
■ 2階：①プール下部東側壁面⇒②シェル壁東面⇒③シェル壁北面



1階(南東部)平面図



2階調査の撮影・照明機材  
(4号機における訓練時の様子)



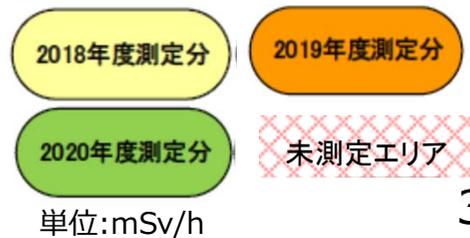
2階平面図



参考写真: シェル壁東面(5号機2階)



参考写真: シェル壁東面(4号機2階)



# 3号機原子炉建屋内調査 3階調査ルート

- 3階：①南東階段周辺の状況確認（東側通路へのドローン等のアクセス可否）
- ②プール壁西面周辺の状況確認（アクセス可否確認のためのハッチ開口脇の瓦礫の状況確認）

